

日本語多読授業に見る 教員の変容



ノートルダム大学
楙織憲子
Noriko Hanabusa
Univ. of Notre Dame
Hanabusa.1@nd.edu
SU18_CCBI_武蔵野大学 1

CCBI: 教員の姿勢

- 現状や前提を問い直し、その維持や変革に能動的に関わっていく
- 学習者だけでなく教員も**自分のやっていることを批判的に見る**必要性
- 楙織(2015)『日本語とポップカルチャーコースをつなぐジョイントティーチングの試み』
 - ・ 上級授業をコンテンツ教員と語学教員が同席して担当
 - ・ 各分野の専門家が1人で教える従来の前提を批判的に見た

1. 既成事実に満足せず他の可能性を探し続ける → 教員として不可欠な態度
2. 日本語と周辺分野の連携

多読

SU18_CCBI_武蔵野大学 2

問題点 (Day & Bamford, 1998)

- 学習者は、宿題・教材以外の外国語の読み物を読んでいない
- 読むことにストレスを感じている
- 読み授業に不安・恐怖を感じている

- 学習者は外国語の読み物を読まず、自分から読むことが好きではない

↓

Extensive Reading (ER)
多読

SU18_CCBI_武蔵野大学 3

多読 (Extensive Reading) の定義

- Day & Bamford (1998)
Quickly reading **large amounts of self-selected, easy, varied, and interesting material**

多読 = 教室内個人活動
従来の一斉授業

- クラス全体を教える
- 教案作成
- テスト

→

前提・既成事実
教員の姿勢の変化が必要

CCBI

SU18_CCBI_武蔵野大学 4

英語多読の効果 (高瀬 2010)

- 英語力に関する効果
 - ・ リーディングスピード向上
 - ・ リーディング力向上
 - ・ リスニング力向上
 - ・ ライティング力向上
 - ・ スピーキング力向上
 - ・ 文法力向上
 - ・ 語彙力向上

学習者に
対する

- 情意面での効果
 - ・ やる気をおこす
 - ・ 自信をつける
 - ・ 英語嫌い減少

多読が
教員に与える
影響

SU18_CCBI_武蔵野大学 5

ノートルダム大学

- 米国インディアナ州 私立総合大学
- 学生数: 12,000
- 学部: 5 (人文・工・理・ビジネス・建築)
- 東アジア言語・文化学科 (日・中・韓)
- 2学期制(秋・春): 各16週
- 日本語話者: 非常に少ない
- 東アジア学専門図書館なし 図書館多読
- 東アジア学司書ポジション新設 (2012春学期~)

SU18_CCBI_武蔵野大学 6

ノートルダム大学日本語プログラム

- 常勤日本語教員: 3
- 通常コース 1st - 4th/5th Yr (3-5単位) + 多読 (1-2単位)
- 履修者数: 90±/学期
- 日本語専攻: 45±; 全員 Double Major/Triple Major
- 外国語必修あり: 人文・理学部
- 日本語履修者のうちアジア人留学生: 約25%

学習者の多様化 (背景・母語・目的・関心...)
↓
一斉授業への疑問・個別活動の必要性

SU18_CCBI_武蔵野大学 7

日本語カリキュラム

学年	時間/週	教材
初級多読	1st	50分 x 5 「なかま 1」
	2nd	50分 x 5 「なかま 2」
中上級多読	3rd	50分 x 4 「上級へのとびら」
	4th-5th	50分 x 3 生教材

SU18_CCBI_武蔵野大学 8

多読活動の経緯

13夏 | 13秋 ~ 14春 | 14秋 ~ 15春 | 15秋 ~ 18春

東アジア学司書着任 (12春)

正規授業: 8学期目
計177人が履修 (継続履修者: 40人)

SU18_CCBI_武蔵野大学 9

授業形態

- 週1回・全15回/学期
- 1単位 (50分)・2単位 (100分)
- 選択制
- 登録条件: ひらがなカタカナが読める
- 何度でも履修可
- 全レベルから平均して集まる
- 履修者 { 2/3: 通常授業 + 多読
1/3: 多読のみ

SU18_CCBI_武蔵野大学 10

教室内活動

- 個人読書 (Sustained Silent Reading)
- 読書記録記入 (Google Form) → ポートフォリオ
- ブックチャット・読み聞かせ・聞き読み
- 個人面談
- 学期末プロジェクト発表

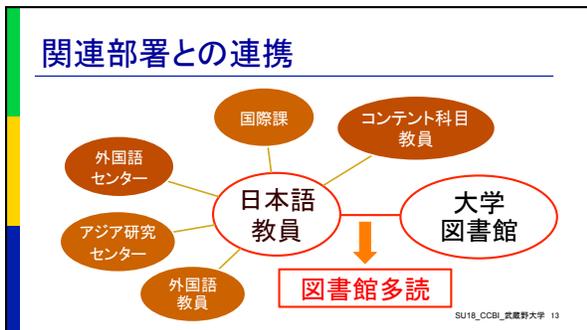
1. 辞書をひかない
2. 分からないところは飛ばす
3. 進まなくなったらやめる
4. やさしいレベルから読む
栗野他 (2012)

SU18_CCBI_武蔵野大学 11

日本語多読教材: レベル 0~5

1. Graded Readers (レベル別読み物)
レベル別語彙・文法
色々な分野: 昔話・創作・歴史・小説・文化紹介
2. 一般書
 - 絵本
 - まんが
 - 写真集
 - コミックエッセイ
 - 小説など

SU18_CCBI_武蔵野大学 12



精読と多読の比較

高瀬 (2010) p. 24 「従来の英語リーディングと多読との違い」を基に発表者作成

	精読授業	多読授業
受講態度	受動的・消極的	能動的・積極的
テキスト選択	教師	学習者
教材・レベル	統一 (教師が選択・全員同じ教材)	多様 (学習者が各自の力・好みに応じて選択)
読書量	少量	大量
内容	部分的 (1回につき数段落)	全体把握 (本1冊程度~)
難易度	高い	低い
スピード	遅い	速い
辞書・語彙表	活用	使わない
教師の役割	説明・質問・問題を与える等	観察・図書選択指導等

教師の役割: 英語多読

Bamford & Day (2004)

- 10 Principles of Extensive Readingより
 - The teacher **orients** and **guides** the students.
 - The teacher is a **role model** of a reader.

酒井・神田(2005)

- 教えない: 個別指導が基本
- 押し付けない: 学習者中心の読書活動
- テストしない: 楽しくたくさん読む指導

SU18_CCBI_武蔵野大学 16

「教えない授業」

Ewert & Hardy (2015)
 • Why is ER NOT common?
 "Active" role of the teacher belief

多読授業中教師は何をするのか?

酒井・神田(2005), 高瀬 (2010), Day & Bamford (1998), Nation & Waring (2013)他

- 学習者を観察
- 学習者に様子を聞く
- 学習者にアドバイスする
- モデルとして読書をする
- 読書記録を読む

→ 教員の
気づき・発見・変容

SU18_CCBI_武蔵野大学 17

成績 (FA17-SP18)

出席・授業参加	25%
ブックチャット	5%
読書記録	15%
Oral Book Report (w/tutor)	5%
Written Book Review	5%
記述式自己評価 (計2回)	15%
学期末プロジェクト	30%
計	100%

- 出席・授業参加・提出物の期限厳守
- A, B, C, D, F (Pass/Failの方がふさわしい?)

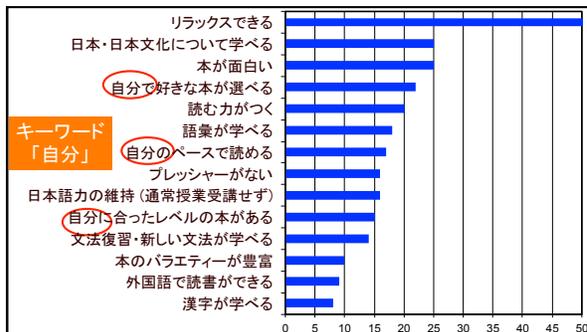
SU18_CCBI_武蔵野大学 18

中間自己評価 (FA14-SP18)

- 8週目 (多読活動6回実施後)
- 自由記述
- 日本語・英語
- 記名式
- 8学期・計177人 (履修者全員)

❖ Do you enjoy extensive reading activities? Why?

SU18_CCBI_武蔵野大学 19



期末自己評価(FA14-SP18)

- 16週目 (多読授業終了後)
- 自由記述・選択式
- 日本語・英語
- 記名式
- 8学期・計177人 (履修者全員)

❖ What is your overall impression about the ER class this semester?

キーワード 「自分」

SU18_CCBI_武蔵野大学 21

I enjoyed this class because it allowed me to do things at **my own pace** and read about the topics that **I was interested in**.

Being able to read at **my own pace** really helped me to **evaluate my personal progress** and push myself to more difficult books when I personally felt ready.

主体性 自己評価 学習への責任

I appreciated having the opportunity to choose the path of my studies based on **my own evaluation of my language skills**.

It really pushes the student to **take action over their own learning**. In a calm state of mind where **I could control the pace of my learning** in the class, I felt like I made progress.

SU18_CCBI_武蔵野大学 22

プロジェクト発表

1. 成果の共有の場
2. アウトプット (話す・書く)

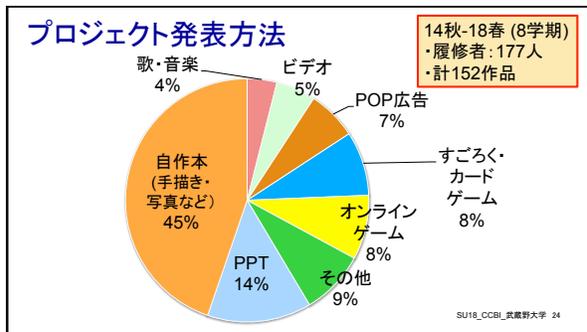
- 教師「POP広告を使ったブックトーク?」
- 学習者「自分で本を作りたい!」→ **自由トピック・フォーマット**

- ・ 多読: **自分で**好きな本を選ぶ
- ・ プロジェクト: **自分で**好きなことを選ぶ

❖ ストーリー創作・ブックトーク・文化紹介・翻訳など

ブーススタイル

SU18_CCBI_武蔵野大学 23





創作絵本「わすれっぽいデイビッド」

・2015秋学期
・超初級
・「なかま1」第3課まで

創造性

■ 授業からこぼれ落ちるものを拾い上げる場の提供

キーワード「自分」

- 自分で好きな本が選べる
- 自分のペースで読める
- 自分に合った本がある
- 自分で発表内容や媒体が選べる

高く評価 → **自律学習 生涯学習**

- 学習者は能動的に学習に関わりたいと思っている
- 「教師が与えること(教材・テスト・課題)」が自律性をつみとっている?

SU18_CCB1_武蔵野大学 27

教師の役割: 支援者

教えない!
コントロールしない!
裏方に徹する!

- 学習環境を整える **真の**
- 学習者1人1人をよく見る
- 適度な距離から見守る
- 個別アドバイス
- 様々な情報収集・学習者への情報提供
- コミュニティーの一員として一緒に活動する

他の授業にも 応用できる

SU18_CCB1_武蔵野大学 28

まとめ

- 学習者はそれぞれ違う
- 個性を生かす授業の模索
- 本当の「学習者主体」を目指すために何をすべきか

□ 様々な多読支援者の変容について

SU18_CCB1_武蔵野大学 29

引用文献

- ・ 粟野真紀子・川本かず子・松田緑(編著)(2012)『日本語教師のための多読授業入門』アスク出版
- ・ 酒井邦秀・神田みなみ(編著)(2005)『教室で読む英語100万語—多読授業のすすめ』大修館書店
- ・ 高瀬敦子(2010)『英語多読・多聴指導マニュアル』大修館書店
- ・ 綿織憲子(2015)『日本語とポップカルチャーコースをつなぐジョイントティーチングの試み』『未来を創ることばの教育をめざして』佐藤慎司他編 ココ出版
- ・ Bamford, J. & Day, R. (2004). *Extensive reading activities for teaching language*. Cambridge: Cambridge University Press.
- ・ Day, R. & Bamford, J. (1998). *Extensive reading in the second language classroom*. Cambridge: Cambridge University Press.
- ・ Ewert, D. & Hardy, J. (2015). "Introduction to Extensive Reading." Center for Study of Languages and Cultures Symposium, Univ. of Notre Dame.
- ・ Nation, P. & Waring, R. (2013). *Extensive Reading and Graded Readers*. Seoul: Compass Media.

SU18_CCB1_武蔵野大学 30

謝辞

多読実践に関し、多くの方々にご指導いただいている。この場を借りて御礼申し上げる。

- 酒井邦秀氏
- 栗野真紀子氏
- 熊谷由香氏
- 鈴木祐子氏
- Doreen Ewert氏
- Jane Hardy氏
- その他NPO多言語多読関係者の方々

SU18_CCB1_筑波大学 31